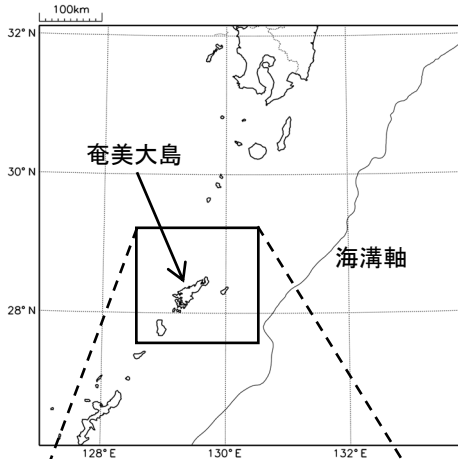
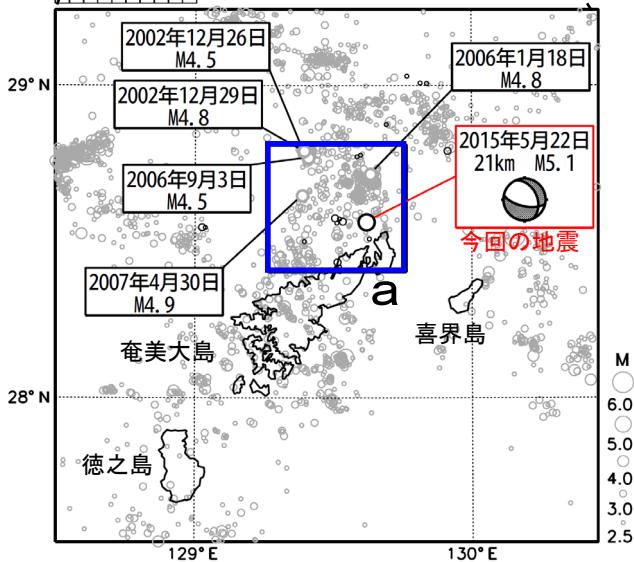


5 月 22 日 奄美大島近海の地震

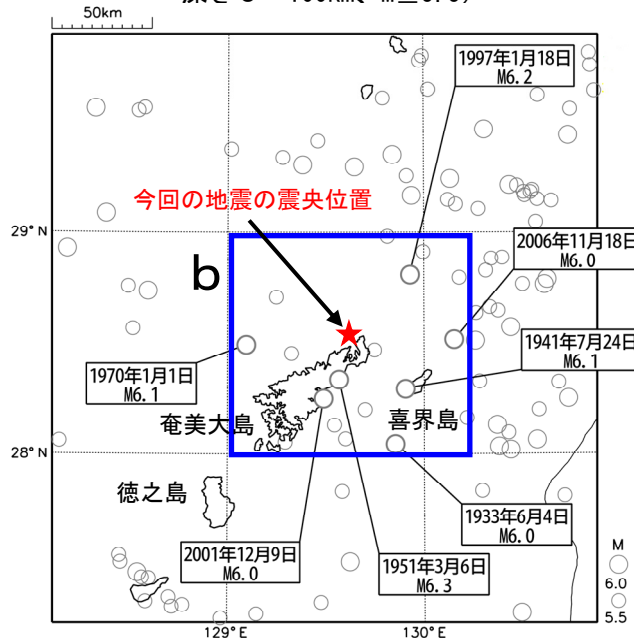


震央分布図
(1997年10月1日～2015年5月31日
深さ 0～30km、M ≥ 2.5)

2015年5月の地震を濃く表示
図中の発震機構は CMT 解



震央分布図
(1923年1月1日～2015年5月31日、
深さ 0～100km、M ≥ 5.5)

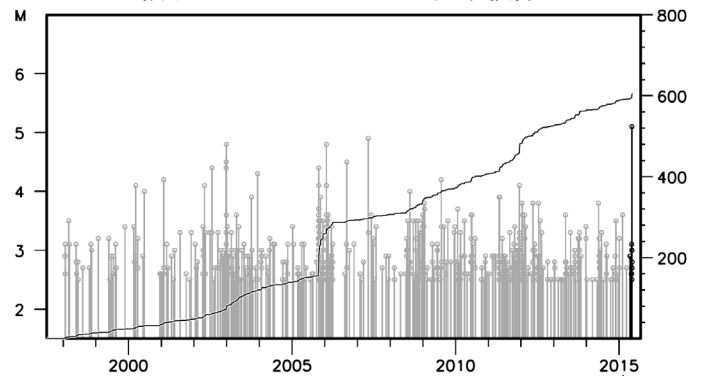


2015年5月22日22時28分に奄美大島近海の深さ21kmでM5.1の地震（最大震度5弱）が発生した。この地震は、陸のプレートの地殻内で発生した。発震機構（CMT解）は、北東-南西方向に張力軸を持つ型である。

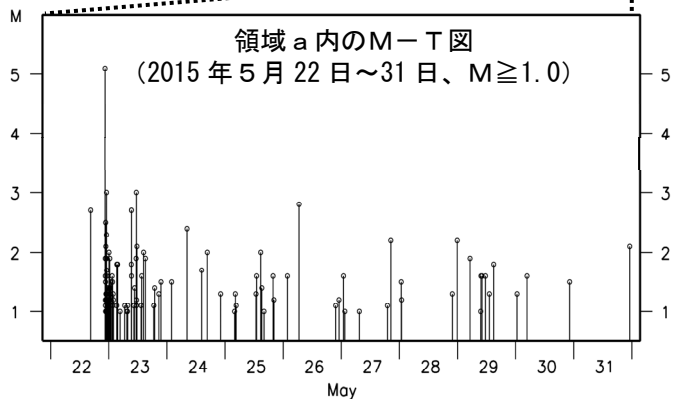
1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近（領域 a）では、地震活動が活発な領域で、M4.0を超える地震がしばしば発生している。

1923年1月以降の地震活動を見ると、今回の地震の震央周辺（領域 b）では、M6.0以上の地震が7回発生している。そのうち、1970年1月1日に発生したM6.1の地震（最大震度5）では、負傷者5人、住家一部破損1,462棟などの被害が生じた（「日本被害地震総覧」による）。また、2001年12月9日に発生したM6.0の地震（最大震度5強）では、住家一部損壊1棟などの被害が生じた（総務省消防庁による）。

領域 a 内の M-T 図及び回数積算図



領域 a 内の M-T 図
(2015年5月22日～31日、M ≥ 1.0)



領域 b 内の M-T 図

